



# 久山中学校だより



R3. 3. 11 第25号

## 《3月11日 東日本大震災から10年》

3月11日、何の日か知っていますか？

そうです。10年前に東日本大震災が起こった日です。皆さんは覚えているでしょうか？2歳から4歳なのであまり覚えていないかもしれませんね。私（校長）は、鮮明に覚えています。なぜなら、そのとき3年生の担任をしていて、卒業式の日だったからです。卒業式後、卒業生がお互いに集まって写真撮影などが終わり、みんなを送り返した後、ほっと一息しようと談話室で椅子に腰掛け、テレビのスイッチを入れた途端、目に入ってきた画面は、「東北地方で地震がありました。津波の危険があります。避難してください。」というものでした。しかし、日本各地で地震があったとき、津波注意報が出てほとんど津波が来たことがないので、きっと今回も津波はないだろうと簡単に思っていました。しかし、テレビに映る状況はそのような軽いものではなく、その場を離れることができませんでした。海が真っ黒になり海面がどんどん高くなっていき、波が防波堤を乗り越え、家や車を奥へ奥へと押し流していきます。大きなタンカーも陸へと押し上げられ流されていきます。高台へ逃げた人々の足下まで水面が登ってきます。まさにこれまで見たことのない状況でした。あるところでは10数メートルのビルの3階の高さまで波が襲っています。押し寄せた波が今度は引き波へと変わり、あらゆるものを海へと引きずり込みます。今まであったものがほとんど全てなくなり、形を変えてしまいます。たくさんの人の命が奪われ、たくさんの人の生活の場も奪われてしまいました。学校も波にのまれ形を変えてしまいました。でも直接被害がなかった福岡に住んでいる私はテレビの画面を見て驚くだけでした。実際に東北に住み、家族を亡くし、住むところを奪われた人々にとってはどんなに大変だったことでしょうか。学校も被災し再開できないところや、避難所になったところもたくさんあり、勉強どころではありませんでした。10年の月日が流れ、東北地方は復興へ向けて進んでいます。同じ中学生も勉強できる環境に戻ってきています。しかし、まだまだ元に戻ったわけではありません。家族や自分の周りの知人をなくし、心に傷を負ったままの人がたくさんいます。自分が住んでいた町へ戻ることができない人もたくさんいます。余震も続いています。熊本でも大きな地震があり、大きな被害を受けました。福岡でも大雨による大きな災害が起きました。今後、私たちが住んでいるこの久山でも大きな災害が起こることも考えられます。時間と共に風化させずに、防災に対する意識を高め準備を行っていく必要があると思います。



久中ボランティアメーター

3月10日現在のボランティア参加者

2574名

2500人突破！！